

横手市議会定例会

市長所信説明

令和8年6月

(令和8年5月25日 告示)

横手市

第3次横手市総合計画

まちの将来像 時代を受け継ぎ 磨き上げ 凛々しく羽ばたくまち よこて

基本計画 政策・施策

政策1〈健康福祉〉

みんなが健康で安心して暮らせる環境と、未来につながるまちづくりを進めます

- | | | | |
|-------|-----------------------|-------|-----------------------|
| 施策1-1 | こどもが生まれ健やかに育つ環境づくりの推進 | 施策1-4 | 安心して生活できる障がい者（児）福祉の充実 |
| 施策1-2 | 健康づくりと地域医療の充実 | 施策1-5 | 生活に困難を抱える人への自立支援の推進 |
| 施策1-3 | 高齢者福祉の向上と生きがいづくりの推進 | 施策1-6 | 支え合いによる地域共生社会の実現 |

政策2〈教育文化〉

豊かな学びの充実により、生きる力と郷土を愛する心を育みます

- | | | | |
|-------|------------------------|-------|-------------------|
| 施策2-1 | 横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実 | 施策2-4 | 心を豊かにする生涯学習の推進 |
| 施策2-2 | 安全で安心して学べる教育環境の整備・充実 | 施策2-5 | 横手の風土に育まれた伝統文化の継承 |
| 施策2-3 | スポーツ環境の整備とスポーツによる地域活性化 | | |

政策3〈生活環境〉

自然環境を守り、安全で安心なまちづくりを進めます

- | | | | |
|-------|--------------------------|-------|------------------|
| 施策3-1 | 安全で暮らしやすい環境の整備 | 施策3-3 | 災害に強い体制の整備 |
| 施策3-2 | 豊かな自然環境の保全と安全で安心な生活環境の形成 | 施策3-4 | 循環型社会の確立と環境保全の推進 |

政策4〈産業振興〉

人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります

- | | | | |
|-------|-----------|-------|-------------------|
| 施策4-1 | 農林業の持続的発展 | 施策4-4 | 地域資源を生かした観光・物産振興 |
| 施策4-2 | 活気ある商業の振興 | 施策4-5 | 魅力ある企業の育成と雇用機会の拡大 |
| 施策4-3 | 活力ある工業の振興 | | |

政策5〈建設交通〉

地域の特色を生かし安心して暮らし続けられる、リスクに強いまちづくりを進めます

- | | | | |
|-------|---------------------|-------|-------------------------------|
| 施策5-1 | 雪国の安全・安心な暮らしの実現 | 施策5-4 | 地域特性を生かした快適な居住環境の形成 |
| 施策5-2 | 道路環境の充実と道路ネットワークの強化 | 施策5-5 | 安全安心な水道水の供給と快適な生活環境を守る下水の適正処理 |
| 施策5-3 | 公共交通の充実と利用の促進 | 施策5-6 | 公園環境の魅力向上 |

政策6〈市民協働〉

市民と行政が協力し持続可能な地域づくりを進めます

- | | |
|-------|-------------------|
| 施策6-1 | 地域コミュニティの活性化 |
| 施策6-2 | 情報共有環境の充実と迅速な情報発信 |
| 施策6-3 | 市内外との交流連携の推進 |

政策7〈行政経営〉

横手を思い、市の繁栄を実現させる創造的な行政経営を進めます

- | | |
|-------|--------------------|
| 施策7-1 | 効率的で成果重視の行政経営の推進 |
| 施策7-2 | 健全な財政運営の推進 |
| 施策7-3 | 人材育成と人材活用による組織力の向上 |

目 次

1. はじめに	1
2. 新たな施策等への取り組みについて	4
(1) I R I S Oアリーナ横手のオープンについて.....	4
3. 令和8年度事業等の進捗状況について	6
(1) 国民健康保険について.....	6
(2) プレミアム付商品券事業について.....	7
(3) 公共温泉施設について.....	8
(4) 中東における軍事衝突の影響について.....	8
4. 補正予算について	10
5. おわりに	11
※行政一般報告編	12

令和8年6月横手市議会定例会の開会にあたり、市政運営に関する基本的な考えとして所信を述べさせていただくとともに、当面する市政の重要課題についてご説明申し上げ、市民の皆様並びに議員各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

1. はじめに

4月以降、長野県北部、三陸沖、そして北海道十勝地方と国内で強い地震が相次ぎ、いずれも最大震度5強を観測しております。これらの地震において、お怪我をされたり、家屋に被害を受けられたりした方々をはじめ、避難を余儀なくされた方々に対しまして、心よりお見舞いを申し上げます。

特に、4月20日に発生した三陸沖の地震では、東北地方を中心に北海道から東海までの広い範囲で揺れをもたらしたほか、地震直後には津波警報・注意報が発表され、岩手県久慈港などの各地で津波が観測されました。

当市でも震度4を観測したほか、ゆっくりとした大きな揺れが続く「長周期地震動」が発生し、4段階中2番目に強い「階級3」を県内で初めて観測する揺れとなりました。

また、より大きな後発地震が発生する確率が高まったとして気象庁から「北海道・三陸沖後発地震注意情報」が発表され、不安な

日々をお過ごしになられた方もいらっしゃるかと存じます。

幸いにも、この地震による大きな被害はありませんでしたが、雄物川地域や山内地域では水道水の濁りが発生し、当該地域の皆様にはご不便をおかけいたしました。

また、災害は地震にとどまらず、この春も各地で林野火災が多発しております。特に、4月22日に発生し、延焼が拡大していた岩手県大槌町の林野火災に対し、市消防では、4月24日から5月4日まで延べ27名を緊急消防援助隊として派遣いたしました。

林野火災への備えとして当市では、令和8年1月から「林野火災注意報・警報」の運用を開始しており、降水量や乾燥状況などをもとに林野火災の発生や延焼の危険性を総合的に判断し、3月下旬以降、複数回にわたって「林野火災注意報」を発令しております。発令の際には、市ホームページやよこて安全・安心メール、消防や消防団の皆様の協力による広報巡回などを実施しておりますので、市民の皆様におかれましては、火の取り扱いにくれぐれもご注意くださいようお願いいたします。

市といたしましては、平時から災害への備えとしてシームレス避難所を活用した防災訓練など、引き続き市民の皆様のお安全安心を確保する取り組みを進めてまいります。また、市民の皆様におかれましても、自助としての災害への備えを日頃から心がけていただき

ますようお願いいたします。

さて、この春も雪解けが早く、4月中旬には桜が満開となり、横手城をはじめとする各地の桜の名所で開催された観桜イベントに、市内外から多くの方々にお越しいただきました。

さらに、4月中旬に市内の酒蔵で行われた蔵開きには、県内外から多くの日本酒ファンの皆様にお越しいただき、杜氏が酒造りを説明する蔵見学会などを通じて、「発酵のまち横手」の魅力を大いに満喫いただく機会となりました。

観光庁が公表した令和7年の宿泊旅行統計調査において、県内の外国人延べ宿泊者数は過去最多となる14万5千人に上り、前年から20パーセント以上増加するなど、インバウンドは増加傾向にあるものの、他地域と比較するとまだまだ拡大できるものと捉えております。

当市には、四季を通じて様々なイベントや祭りがあり、これらの魅力を積極的に市外へ発信することにより、さらなる来訪者数の増加を図ってまいります。

加えて、いよいよ7月にグランドオープンする^い ^り ^そIRISOアリーナ横手で開催される様々な大会やイベントにも、市外から多くの方々を訪れることが見込まれ、交流人口の拡大や地域経済のさらなる活性化に期待しております。

農業分野におきましては、令和7年産米の概算金の上昇やスイカなどの品目が高単価で取り引きされたことにより、JA秋田ふるさとの農畜産物販売高が、JA設立以来最高となる300億円を超える見込みとなっております。長引く原油価格高騰による資材高や、昨年夏の異常な高温と干ばつなど厳しい状況下にありましたが、農業者の皆様のとゆまぬ努力がもたらした結果であるものと捉えております。今後もJAをはじめとする関係機関と連携し、基幹産業である農業のさらなる発展を目指し取り組んでまいります。

令和8年度は、第3次横手市総合計画のスタートの年であり、横手の歴史や文化がこの先も永く継承され、市の存在感を示しながら力強く挑戦し続けられるよう、積極的に事業を展開してまいります。

2. 新たな施策等への取り組みについて

(1)IRISOアリーナ横手のオープンについて

7月1日にグランドオープンを予定しているIRISOアリーナ横手につきましては、4月1日に建物の引き渡しを受け、指定管理者であるフクシ・オーエンス共同事業体と連携しながら、備品の搬入や予約受付、広報活動など、開館に向けた準備を着々と進めております。

6月14日にはオープニングセレモニーを開催し、同月をプレ

オープン期間として、市中学校総合体育大会の開催に加え、見学会や体験会などを通じて、多くの市民の皆様にご覧いただく機会を設けてまいります。

7月のグランドオープン以降につきましては、一般利用を開始するとともに、各種スポーツ大会や市主催のイベントに加え、第50回全国高等学校総合文化祭、夏巡業大相撲横手場所、ボールゲームフェスタなど、数々のオープニング関連イベントが開催される予定であります。

プロスポーツやトップスポーツの分野において、バレーボールではスカイロケッツ秋田のVリーグやアランマーレ秋田庄内のSVリーグ、バスケットボールではアランマーレ秋田のWリーグなどのホームゲームのほか、国内最高峰の実業団バドミントンリーグであるS/Jリーグの開催も予定しております。

IRISOアリーナ横手につきましては、スポーツ大会や興行、イベント等が多数開催されることから、当市の観光資源や食文化など多様な分野と連携し、スポーツや文化の交流拠点として地域活性化や新たな人の流れの創出を進めてまいります。

3. 令和8年度事業等の進捗状況について

(1) 国民健康保険について

はじめに、令和7年度事業の状況についてご説明いたします。

歳出における医療費については、一人あたりの保険給付費が37万円となり、令和6年度と比較して6.8パーセントの増加となりました。これは、被保険者数が5.6パーセント減少したものの、医療の高度化などにより保険給付費の総額が0.8パーセント増加したことが主な要因であります。

一方、歳入では、国民健康保険税収納率について、令和7年度現年分が4月末現在で96.21パーセントと、令和6年度実績とほぼ同じで、滞納繰越分は25.61パーセントと1.75ポイント増加していることから、当初見込みどおりの歳入額を確保できる見通しとなっております。

次に、本格予算となる今回の補正予算であります。今年度から段階的に徴収が開始される「子ども・子育て支援納付金分」について、新たに区分を設定し、所得割の税率を0.25パーセント、均等割を1,250円、平等割を800円といたしました。この新設に伴い、医療給付費分の所得割の税率を9.67パーセントから0.43ポイント減の9.24パーセントとし、国民健康保険特別会計における課税総額が増額とならないよう調整しております。

また、事業費納付金の本算定額は増額となりましたが、国・県の交付金の活用等により、必要な財源を確保できる見込みであります。今後も、地方自治体の健康推進策を後押しする「保険者努力支援制度」等を活用して歳入の確保に努めるとともに、国保加入者の皆様の健康増進と医療費適正化に向け、特定健診や保健指導等の受診率向上を図る取り組みを推進してまいります。

国民健康保険につきましては、「持続可能な医療保険制度」と「全世代型社会保障制度」の構築という国の方針のもと、都道府県単位での保険料統一加速化に関する議論が本格化していくものと考えております。引き続き、国・県の動向把握や情報収集に努め、持続可能で安定的な事業運営に取り組んでまいります。

(2)プレミアム付商品券事業について

国の「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用し、市民の皆様の生活支援と市内事業所の経済対策を目的として実施する、「プレミアム付商品券事業」につきましては、4月1日から30日まで購入申込みを受け付け、10万2,886セットのお申込みをいただきました。

お申込みいただいた皆様には、既に引換購入はがきを発送しておりますので、6月21日までに、市内8カ所のいずれかの会場にて

商品券を購入いただきたく存じます。なお、商品券は、11月30日まで市内加盟店においてご利用いただけますので、ぜひお忘れのないようお願いいたします。

また、お申込み状況を集計したところ、商品券の発行予定数に余裕があるため、7月1日から追加の購入申込みを開始できるよう準備を進めております。初回のお申込みと同様に、市報7月号とともに全戸配布するチラシの内容をご確認のうえ、専用ウェブサイトまたは、はがきにてお申し込みくださいますようお願いいたします。

(3)公共温泉施設について

市の公共温泉施設のうち、「ゆっふる」と「さくら荘」につきましては、市議会3月定例会において、条例改正案を可決いただき、10月1日からの指定管理者制度による運営を目指し、公募を開始しております。

今後のスケジュールにつきましては、60日間の公募期間終了後に、指定管理者選定委員会を開催し、指定管理者候補者を選定のうえ、関連議案を提出いたしますので、よろしくようお願いいたします。

(4)中東における軍事衝突の影響について

令和8年2月末からの中東における軍事衝突により、特に原油

輸送の要衝であるホルムズ海峡周辺の航行制限が生じ、資源の安定供給に対する懸念が広がっております。

ガソリン価格の高騰は、国によるいわゆるガソリン補助金の実施により抑えられているものの、3月下旬からは原油を主原料とする製品に影響が出始め、4月初旬からは製造中止や出荷停止が全国的に発生している状況にあります。

当市では、市内の建設業者を対象に資材納入の調査を行い、建築工事・土木工事関連で使用する建設資材や材料、副資材などが出荷制限や大幅な単価上昇を受けていることを確認しており、公共工事を含む建設工事の遅延や中断を懸念しております。

横手駅東口第二地区市街地再開発事業では、令和8年度末の全体工事完成に向けて順調に進捗しておりましたが、建築関連製品の受注停止などの影響を受ける可能性があると同っております。

そのほか、ペットボトル等処理施設整備事業においても、建設資材の価格高騰や出荷制限が生じていることから、工事全体への影響は避けられない見通しとなっており、可能な限り円滑に事業を進めるため、本定例会において工事費及び工期について提案申し上げますので、よろしく願いいたします。

また、建設業以外にも原油を主原料とする製品を扱う製造業や市内の中小企業、小売業に加え、農業にも影響が見込まれ、地域

経済に甚大な影響を及ぼすものと捉えております。

こうした現状を緩和するため、当市では、4月に開催された秋田県市長会において、資材の安定供給及び財政支援に関する国への要望事項を提出いたしました。引き続き、市内経済への影響について情報収集するとともに、情勢の変化を注視してまいります。

4. 補正予算について

今議会に提案しております一般会計補正予算についてご説明申し上げます。

一般会計補正予算「第2号」の補正額は、7,000万円の増額で、内容はペットボトル等処理施設整備事業における工事費の高騰等に対応するための補正、また、一般会計補正予算「第3号」は、定期人事異動に伴う人件費補正のほか、国県支出金の決定等に基づく財源振替などが主な内容となっております。

補正額は、1億9,330万円の増額で、補正後の歳入歳出予算総額は、579億6,230万円であります。主な事業と事業費を申し上げますと、

- | | |
|------------------|---------|
| ◎ コミュニティ助成事業 | 850万円 |
| ◎ 地域公共交通活性化協議会事業 | 1,972万円 |
| ◎ 地域農業構造転換支援事業 | 5,026万円 |

などであります。

5. おわりに

今議会に提案しております案件については、報告案件 6 件、条例案件 5 件、財産取得案件 4 件、令和 8 年度一般会計補正予算案など補正議案 5 件の合計 20 件であります。

以上、よろしくご審議くださいますようお願い申し上げまして、所信説明といたします。

行政一般報告編

～ 3月議会定例会以降の行事等について ～

令和8年3月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概要等
<p>まちづくり推進部 (増田地域局)</p>	<p>真人公園さくらまつり</p> <p>日本のさくら名所100選に選定されている真人公園で、恒例のさくらまつりが、4月12日から5月6日まで一般社団法人増田町観光協会の主催で開催されました。</p> <p>4月29日には、花冷えの中「名物たらいこぎ競争」が行われ、48名の参加者に多くの観客が声援を送り、名物行事を楽しみました。</p> <p>また、期間中、ぼんぼり点灯や貸しボート、多くの露店出店などがあり、賑わいを見せました。</p>
<p>まちづくり推進部 (増田地域局)</p>	<p>増田小学校の農業体験交流学习</p> <p>この事業は、子どもたちに食と農の大切さを体験して学んでもらおうと、平成16年度から実施しているもので、増田小学校5年生が増田高等学校などの協力により、「ひと粒の種から、ごはんになるまで」をテーマに、春の「種まき」と「田植え」、夏の「生育調査」、秋の「稲刈り」を経て、「育てたお米を食べよう！」や「販売体験」までを実施するものです。</p> <p>4月20日に「サキホコレ」の種まき体験を実施し、また、5月18日には田植え体験を実施しました。今後も農作業を通じた子どもたちの交流学习が図られるよう、事業を進めてまいります。</p>
<p>まちづくり推進部 (大森地域局)</p>	<p>2026芝桜フェスタ</p> <p>5月12日から5月18日までの7日間、大森リゾート村を会場に「芝桜フェスタ」が開催されました。期間中の土曜日には、キッズデーとして子どもたちが楽しめるイベントが行われ、日曜日には、大森町出身の漫画家きくち正太先生のサイン会、大森太鼓保存会の演奏、YOSAKOI 演舞、大声競争大会など、様々なイベントが催されました。県内外から7日間で合計約15,000人のお客様に来場いただき、赤や白、ピンク、紫など約10万株の花のアートを楽しんでいただきました。</p>

令和8年3月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概要等
<p>まちづくり推進部 (十文字地域局)</p>	<p>梨木公園のこいのぼり掲揚</p> <p>4月16日から5月8日までの間、梨木公園の池に約90匹のこいのぼりを掲揚しました。</p> <p>この取り組みは、役目を終えて家庭で眠っているこいのぼりを市民の皆様から提供いただき、将来を担う子どもたちの健やかな成長を願うとともに、多くの皆様に春の散策を楽しんでもらいたいと、平成5年から実施しているものです。</p> <p>満開の桜とこいのぼりの共演は、十文字地域の春の風物詩となっており、今年も多くの皆様に鑑賞していただきました。</p> <p>今後も引き続き、こいのぼりの提供をお願いしながら、事業を継続して多くの皆様に楽しんでいただけるよう取り組んでまいります。</p>
<p>まちづくり推進部 (山内地域局)</p>	<p>観光わらび園と山菜まつり</p> <p>4月28日、「黒沢わらび園」の火入れを生産組合と共同で実施しました。わらび園は5月17日に開園しており、7月上旬頃まで営業する予定です。なお、「三又わらび園」はクマの出没を考慮し、今年度の営業を休止しています。</p> <p>また、道の駅さんない「農香庵」では5月9日、10日に「山菜まつり」を開催し、山菜を買い求める多くのお客様で賑わいました。</p> <p>今後も、山内地域の宝である山菜の販路拡大に向けたPRを行い、所得の向上と交流人口の増加による地域の活性化を目指してまいります。</p>
<p>まちづくり推進部 (山内地域局)</p>	<p>山内地域地区サポート会議合同研修会</p> <p>4月22日、山内地区交流センターを会場に「山内地区サポート会議合同研修会」を開催しました。山内地域の13地区の区長をはじめ、行政区役員、地区交流センター運営協議委員、民生児童委員、環境美化推進員、生涯学習奨励員などが一堂に会し、地域の課題について学ぶ研修は初の試みとなり、77人が参加しました。</p> <p>当日は、「これからの時代に求められる住民自治のカタチ」と題した講演が行われ、今後求められる住民自治の在り方や縮充などの新たな手法を学ぶなど、持続可能なまちづくりを目指すうえで、大変有意義な研修会となりました。</p>

令和8年3月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
<p>まちづくり推進部 (大雄地域局)</p>	<p>東京大雄会総会</p> <p>4月11日、東京都荒川区のホテルを会場に「第54回東京大雄会総会」が開催され、約90人の会員・関係者が参加しました。</p> <p>会場では、会員同士が近況を報告し合ったり、ふるさとの思い出話に花を咲かせたりして、久しぶりの再会を喜び合っていました。</p> <p>交流会では、東京大雄会副会長でグローバルウォータ・ジャパン代表を務め、国連での勤務経験を持つ水環境の第一人者として、海水淡水化や水セキュリティ、インフラ老朽化などのテーマで数多くのテレビ番組にも出演されている吉村和就氏による、「水の話しよう」と題した講演や、横手市出身の歌手「Yukiko」さんのミニコンサートが催されました。</p> <p>会場内に設けられた物産コーナーでは、漬物や地酒、豆腐カステラなどが販売され、横手市産の懐かしいふるさとの味を買い求める会員で大いに賑わいました。</p> <p>最後は、参加者全員で「ふるさと」を合唱し、来年も元気に再会することを誓い合いました。</p>
<p>教育総務部 (図書館課) (生涯学習課)</p>	<p>人気アニメクリエイター・紙上健吾氏トークイベント</p> <p>3月14日、横手市生涯学習館Aonaにて、SNS等で小説を紹介されている紙上健吾さんを招いてトークイベントを開催し、60人が参加しました。</p> <p>トークイベントでは、SNS等で小説紹介を始めたきっかけや動画制作・配信についてお話しいただきました。また、お薦めの小説4冊を会場にてご紹介いただきました。</p> <p>参加者には市内外からの中高生も多く、質疑応答では、小説を紹介するトーク力やデジタル書籍について積極的に質問する姿が見られたほか、サイン会も行われ、多くの参加者で賑わいました。</p>
<p>教育総務部 (図書館課) (生涯学習課)</p>	<p>本屋大賞受賞作家・阿部暁子氏トークイベント</p> <p>4月18日、横手市生涯学習館Aonaにて、岩手県在住で2025年本屋大賞を受賞された阿部暁子さんを招いてトークイベントを開催し、95人が参加しました。</p> <p>トークイベントでは、作家を目指したきっかけやデビューまでの道のり、本屋大賞受賞作品である「カフネ」の誕生秘話についてお話しいただきました。また、本の楽しみ方や本を読む意味など、読書との向き合い方についてもご教示いただいたほか、サイン会も行われ、会場は大いに盛り上がりました。</p>

令和8年3月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
教育総務部 (図書館課) (生涯学習課)	苗字研究家 高信幸男氏講演会 5月16日、横手市生涯学習館Aonaにて、苗字研究家の高信幸男さんを招いて講演会を開催し、約100人が参加しました。 高信幸男さんは50年以上にわたり日本全国の名字にまつわる研究をし、テレビやラジオなど多数のメディアに出演されています。 講演会では珍しい名字の紹介やその由来などをご講演いただきました。また、東北ならではの名字や秋田にまつわる名字なども紹介いただいたほか、サイン会も行われ、多くの参加者で賑わいました。
教育総務部 (生涯学習課)	秋田大学横手分校市民公開講座 3月15日、よこてシャイニーパレスにて、市民公開講座「高血圧と予防のおはなし～血圧をしっかり下げて健康寿命を延ばしましょう～」を開催し、116人が参加しました。 高血圧が血管や心臓に与える影響のほか、血圧管理の重要性について学ぶことを目的に秋田大学と共催で実施したものです。 講師には、秋田大学医学部附属病院循環器内科外来医長の佐藤和奏氏と特定非営利活動法人日本血圧協会理事の日下美穂氏をお迎えし、高血圧が引き起こす病気やその予防法について学びました。
教育総務部 (生涯学習課)	宝くじ文化公演「松平健 マツケンサンバコンサート2026」 3月21日、横手市民会館にて、宝くじ文化公演「松平健 マツケンサンバコンサート」が開催され、873人が鑑賞しました。 市制施行20周年記念事業の最後を飾るイベントとして、市民の皆様へ良質なエンターテインメントを提供し、地域の活性化を図ることを目的に開催したものです。 「マツケンサンバシリーズ」を中心に、ダンサーとともに歌って踊るパワフルなステージを1時間半にわたり披露していただきました。フィナーレを飾った代表曲「マツケンサンバⅡ」では、会場が一体となり、大盛況のうちに閉幕しました。
教育総務部 (生涯学習課)	横手市民会館「桜の宴」 4月18日と19日の両日、横手市民会館駐車場を会場に、文化芸術の振興を図ることを目的に横手市自主文化事業委員会との共催で開催しました。満開の桜の下、延べ約700人の来場者が訪れ、光と音楽による桜のライトアップショーやシンガーソングライター大木彩乃さんのミニライブを鑑賞し、四季の移ろいを楽しみました。

令和8年3月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概要等
教育総務部 (スポーツ振興課)	<p>横手市スポーツ大賞授与式</p> <p>4月25日、「ミラノ・コルティナ2026オリンピック」スキークロス競技に出場した向川桜子さんに対し、横手市スポーツ大賞を授与しました。向川さんは、令和4年にアルペンスキー競技で出場した「北京2022オリンピック冬季競技大会」に続き、2度目の受賞となります。</p> <p>向川さんが成し遂げた2大会連続のオリンピック出場は、多くの市民の皆様に大きな感動と勇気を与えてくださいました。</p> <p>また、同日には、横手市スポーツ大賞に続いて、一般財団法人横手市スポーツ協会から横手市スポーツ賞特別表彰も授与されました。</p>